

家族みんなが

笑顔で輝ける
学びと成長の場所



ちびっこ保育園

Chibikko Nursery School

藤沢園

子どもの笑顔はもちろん、
ママやパパの笑顔も
作りたい



ちびっこ保育園

島田博之 理事長

子どもたちの国語力や非認知能力
育成を志し、文化的教育としての
「紙芝居」を活用。
少林寺拳法五段の有段者で、
NPO法人幼児武道教育振興会の
理事長も務める。

「保育園は、仕方なく 預けるところじゃない」

そう気づいたのは、自分の子どもが待機児童になったときで
した。あの頃の保育園に対するイメージは、どこかネガティブな
ものでした。忙しいから預ける、働かなければならないから預ける――。

でも、本当にそうでしょうか。

子どもたちが、お家にいるときと同じように安心して、
のびのびと自分らしく過ごせる、

保育園は子どもの学びと成長の場所。

保育園を活用することで、家族はより豊かな生活を送ることができる。そんな環境ををつくりたい。
その思いが、ちびっこ保育園のはじまりです。



大切にしたいのは 「みんなが笑顔で輝ける」保育園

子どもが笑顔でいるのはもちろん、ママ・パパ、ご家族みなさんに笑顔で輝いてほしい。そして、それを支える私たち保育者も同じように笑顔でいられることを大切にしています。

関わるすべての人が笑顔であふれる環境こそが、子どもたちにとって一番の幸せにつながる。それが、私たちの保育の根本にある考え方です。

共働きで忙しい毎日を送る親御さんが増えるなか、

ちびっこ保育園が「第二の我が家」として、お子さんの健やかな成長を共に支える場所であり続けたい――

ちびっこ保育園ではそういった考えのもと、日々の保育活動を行っています。



ちびっこ保育園の教育



相手を思いやれる優しさと、逆境に立ち向かえる強さ。その土台づくりに、武道は大きく貢献できていると考えています。

強さと優しさを持つ「人」を育てる 武道教育



礼儀

勝ち負けや技の習得よりも先に、礼儀の大切さを身に付けます。



思いやり

相手の気持ちを感じ、思いやるための、最初の学びを体験します。



挨拶

武道教室の前に、全員で正座をし大きな声で挨拶を行います。



集団行動

全員で同じことに取り組む中で、言葉ではなく体と心で集団での振る舞い方を習得します。



集中力

場を整え、心を落ち着かせることで、集中して取り組む力を育てます。



雑巾がけ

一体と心を整える小さな稽古

四つん這いの姿勢でぐんぐん進む雑巾がけは、柔軟でたくましい肩と脚の力を自然に養います。とっさに手をつく力、踏ん張る力——**転倒時にとっさに身を守る力は、幼児期に育てておきたい、最も大切なもののひとつです。**毎日の小さな積み重ねが、子どもたちの体と心の基礎をつくっています。



「相手を思いやる」ための 最初の学び「共感」を体験・実践

IT技術が飛躍的に発展する現代においても、社会をつくるのは、やはり「人」です。ならば、どんな人たちが社会を構成していくかが、何より大切なことではないでしょうか。ちびっこ保育園が願うのは、**相手を思いやれる優しさと、逆境に立ち向かえる強さを持った人へと育つこと。**武道教室を通じて、子どもたちにはお友達と楽しみ、苦しみ、悲しみをともに感じながら、成長してほしいと考えています。

言葉と表現の力を育む カリキュラム「紙芝居」



ちびっこ保育園で紙芝居がカリキュラムになったきっかけは、子どもたちの一言でした。「先生やって！」ではなく、「やりたい!」。自分たちもやってみたいという気持ちが、このカリキュラムの出発点です。

なぜ、絵本ではなく紙芝居なのか

大人は当たり前のように「話し・読み・書く」をこなしていますが、実はこれらはまったく異なる高度なスキルが組み合わさった、複雑なプロセスです。

絵本の多くは文章で情景や出来事を伝える叙事的な構成となっており、どちらかといえば「詩」や「読み物」に近い作りです。一方、紙芝居の土台は「芝居」—— お話のほとんどが、生き生きとした会話(セリフ)で進んでいきます。

「昨日ね、こんなことがあったんだよ」という日常会話の延長線上に、紙芝居はあります。だからこそ子どもたちにとって**紙芝居は、単なる読み聞かせを超えた「生きた言葉の体験」になるのです。**

「読む」から「つくる」へ—4つのステップ

ちびっこ保育園の紙芝居カリキュラムは、4つのステップで進んでいきます。

観る

まずは紙芝居の実演を楽しみながら、さまざまな言葉・イメージ・感情を受け取ります。

読む

次は自分たちで実際に紙芝居を読んでみます。文字を声に出すことで、言葉が体の中に入っていきます。

つくる

好きなお話を自分で考え、絵と文章を作ります。ストーリーを組み立てる力、文字を書く力が育まれます。

発表する

完成した紙芝居をみんなの前で披露します。人前で表現する体験が、自信へとつながっていきます。

自分でつくった紙芝居は、一生残る思い出の作品にもなります。このプロセス全体を通じて育まれるのが、これからの社会でとりわけ重要とされる「国語力(読解力)」です。話す・読む・書く・伝える——その力を、楽しみながら着実に積み上げていきます。



園1日の流れ



年間行事



※その年の状況や天候などによって年間行事予定は変更になる場合があります。

＼頑張り過ぎなくて大丈夫／

ちびっこ保育園の方針は「ママパパは完ぺきでなくて良い」



おむつは持ってこなくていい

「どうすれば、ママパパの毎日が少しでも楽になるだろう」その問いからはじまった取り組みのひとつが、おむつの管理は保育園が行うという方針です。「チリも積み重ねば」という言葉の通り、おむつへの名前書きは毎日のことだからこそ、積み重なれば少なからず負担になります。ちびっこ保育園では15年前からこの方針を続け、現在は**おむつそのものを持参する必要のないサブスク制を導入**しています。毎朝の荷物も、準備の手間も、できる限り減らしたい。その思いを形にしています。



時には、出来合いのものでいい

保育園の給食は、栄養士が栄養・カロリーを計算するだけでなく、季節や彩りなど、さまざまな要素を加味し、子どもたちが、食に興味をもち、楽しく食事ができるようにと考え作られています。ご家庭での食事では、夕食の準備が特に大変ではないでしょうか。時には、冷凍食品や出来合いのもので良い。

お子さんと向き合い、ゆっくり同じ食卓を囲む時間の方が、手の込んだ料理よりずっと豊かな時間になることがあります。栄養面は給食に任せて、「よく頑張っているね」と自分自身に言ってあげてください。



「やりたい！」の芽を、ここで見つける



ちびっこ保育園では、**英語・水泳・武道・ダンス・サッカーなど、多彩なカリキュラムを保育時間の中で実施しています。**その理由は、シンプルです。「わたし、コレやりたい！」という気持ちの芽を、できるだけたくさん見つけてあげたいから。**「身につけてほしい」よりも、「世界を広げてほしい」**——それが、この多彩なカリキュラムに込めた願いです。

園が担うことで生まれる時間を、家族で過ごす時間に

早朝の準備、子どもの支度、送り迎え、仕事に家事に育児——気づけば、寝かしつけをしながら自分も眠ってしまう。そんな毎日を送るママパパの表情が、ふっとほぐれる瞬間をつくること。私たちは、それをとても大切にしています。

「今日もお疲れ様でした」

その一言をきちんと伝えること。サブスクの導入や持ち物の軽減など、日々積み重なる手間を最大限に減らす工夫をすること。ホッとできる瞬間が生まれれば、毎日の生活に少しの余裕が生まれます。その余裕が、お子さんとの時間をきっと豊かにしてくれると、私たちは信じています。



ちびっこ保育園 Reves!

ちびっこ保育園にお預け頂いている保護者の方、
運営に携わる保育者からのレビューをご紹介します。

「この園らしいな」と思う瞬間・エピソードは？

「先生が楽しくなければ、子どもたちも楽しくない！」がモットーと聞きました。

ハロウィン、クリスマスなども先生方も一緒になって仮装したり、驚くような手の込んだ大きな製作物が飾ってあったりします。

既に卒園をした姉の卒園式の時も理事長が真っ先に泣いていました。

保育士の先生方も、英語の先生も開園からずっと同じ先生で、兄弟を覚えていてくれて声を掛けてくれたりと、普段の保育は勿論のこと、常に全力で向き合ってくれていると感じる瞬間が沢山あります。

(保護者より)



「この園を選んで良かった」と思ったポイントは？

「教育重視の園ですか？」と見学会で聞いたとき、島田先生の答えは

「それぞれの子どもに得意・不得意がある。保育園でいろんな体験をしておくことで、小学校で何かを始めるときに『あ、あれが得意だったな』と選ぶ参考になったり、やれた!という自信を持って臨んでほしい。できないことは悪いことじゃない、できることに自信を持てる体験をしてほしいんです」と。

実際に入園してみると、習い事はもちろん、体験が盛りだくさん。同年代の子どもたちと過ごす日々の中で、目には見えない財産が子どもの中に、そして親の思い出としても、着実に積み上げられています。(保護者より)



保護者さんとの関係性の中で心がけていることは？

話を聞く事・共感する事です。子育てをする環境は、子どもの数だけあります。ワンオペなのか、夫婦で協力できるのか、祖父母の協力を得られるのか。ファミサポなど「手を貸して欲しい」と声に出せるのか。経済的な問題も勿論あります。

何が不安で、何が疑問で、何を一緒に喜んで貰いたいのかなど、保育士の知識と経験を持って見守り、真摯に向かい合いたいと心がけています。(保育者より)

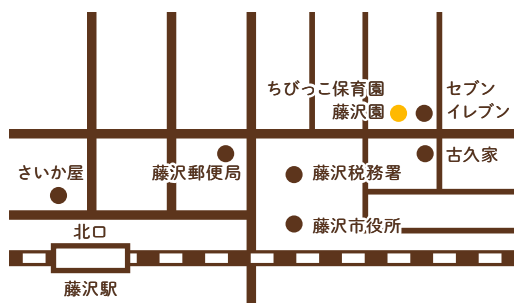


ちびっこ保育園の保育士としてやりがいを感じることは？

「ちびっこ保育園に通って本当に良かったです」と、数年後に妹さん・弟さんをお預けくださるご家庭がほぼ毎年いらっしゃいます。毎年3月に一年の成長が感じられるのは何よりの喜びですが、ここでの園生活の先でグッと成長したお兄ちゃん・お姉ちゃんが、妹さん・弟さんのお迎えと一緒に来てくれて、照れながらも立派にお話をしてくれる姿に、今お預かりしているこの瞬間が如何に大事かと感じ、やりがいを感じます。(保育者より)



MAP



JR・小田急江の島線・江ノ島電鉄「藤沢駅」北口より徒歩7分



企業主導型保育施設

ちびっこ保育園 藤沢園

〒251-0054

藤沢市朝日町 13-5 ルート藤沢 1F・2F

☎ 0466-53-8608

🏠 <https://www.chibikko.org/fujisawa/>

✉ shimada@chibikko.org

ちびっこ保育園 湘南台駅前園 (藤沢型認定保育施設)

〒252-0804 神奈川県藤沢市湘南台 2-14-3-102

🏠 <https://www.chibikko.org/shonandai/>

ちびっこ保育園 ステラコート園 (企業主導型保育施設)

〒252-0804 神奈川県藤沢市湘南台 4-1-16-1A

🏠 <https://www.chibikko.org/stella/>

